

# 山の学校「12月学習レポート」

福島県立あさか開成高校 2年横田塔吾

## 12月16日（土）

### 【参加者】 62名

NTT労働組合（ドコモグループ東北総分会・持株グループ本部）29名

国立環境研究所8名

あさか開成高校22名

しんせい 4名

### 【プログラム】

- ・12月の山の学校は冬季間のため、「コミュタンふくしま」と福島県立あさか開成高校に会場を移し実施しました。
- ・今回は参加者が62名と大勢であったため、2クラスに分け異なる講座を開きました。
- ・調理室を使って、高校生がスープやケーキをつくってもてなしました。

	1組（親子参加）	2組
10:00	コミュタン福島見学ツアー	
11:30	あさか開成高校に移動	
12:00	ランチタイム	
13:00	わたしもできる「エコな暮らし」 担当 あさか開成高校	平和学習 担当 山中努
13:45	休憩	
14:00	暮らしの近くの小さな生き物※自然環境を 学びながらキーホルダーづくり 担当 国立環境研究所	働くって何だろう？ 担当 NTT労働組合持株グループ本部
14:45	休憩	
15:00	作文	気候変動を考える講義とワークショップ 担当 埼玉県環境科学国際センター研究所長 大原利真さん
16:30	終了	

## 午前の部

【コミュタンふくしま見学ツアー】 <https://www.com-fukushima.jp/>

三春町にあるコミュタンふくしまは、原子力災害からのふくしまの歩みを知り、環境との共生を楽しく学ぶ施設です。福島県内の小中高生は、授業の一環でコミュタン福島を訪れることも多く、当日は県外からの訪問者のガイド役も私たち高校生が担いました。



### ふくしまの3.11からエリア

案内の方のお話や動画を観ながら、原発事故の歴史を学びました。2011年以降に生まれた小学生が「本当の話ですか？」と質問し「時間の経過を感じる」との声もありました。私は「3.11語り部活動」も行っているなので、ガイドの方のお話がたいへん参考になりました。

[ふくしまの3.11から | コミュタン福島 - 福島県環境創造センター交流棟 \(com-fukushima.jp\)](https://www.com-fukushima.jp/)



### 環境回復エリア

放射性物質による環境汚染からの回復について学びました。原発事故は私が幼稚園の頃に起きました。放射能の影響が心配され、外遊びがまったくできなかつた事が思い出されます。現在では人の住むエリアでの除染は進み、現在は安全であることが理解できました。原発事故以前の自然環境に戻るまでには長い年月がかかることも理解できました。

[環境回復エリア | コミュタン福島 - 福島県環境創造センター交流棟 \(com-fukushima.jp\)](https://www.com-fukushima.jp/)



### 環境創造エリア

このエリアでは、再生可能エネルギーについて学びました。「エネルギークリエイター」という展示では、砂を使って山や谷や平地などの地形から、再生可能エネルギーを生み出す体験をしました。小学生も大人も大盛り上がりでした。

[環境創造エリア | コミュタン福島 - 福島県環境創造センター交流棟 \(com-fukushima.jp\)](https://www.com-fukushima.jp/)

## 午後の部



昼食時のスープは東北大会で準優勝した「ふくしま親子 de どうもろこしスープ」を3年生が調理し、参加者へふるまいました。このスープは、福島県産の伊達鶏や卵を使っているそうで、おても美味しくおかわりする人が続出でした。

また、3年生はクリスマス間近だったこともあり、調理室を使ってケーキを手作りし、参加者にサプライズを届けました。

## 【1組】



わたしもできる「エコな暮らし」担当：福島県立あさか開成高  
私たちの学校は積極的にSDGs活動に取り組んでいます。その一環として「水環境保全活動」について、発表し、洗剤を使わないエコたわし（指編み）をつくりました。小学生のみなさんにも楽しくSDGsを学んで頂こうとこの企画を準備したのですが、大人方も夢中になって編んでくださいました。「次は猪苗代湖の保全環境についても教えてください」と声をかけて頂き嬉しかったです。



暮らしの近くの小さな生き物※自然環境を学びながらキーホルダーづくり 担当：国立環境研究所福島支部

私たちの身近に生息する虫などについて学習しました。虫の様々な特性を楽しく学ぶことができました。お話を聞いた後、一番興味があった昆虫でキーホルダーもつくりました。講師を務めたジョー先生は韓国の方でした。日本と韓国の自然環境の違いなど、もっと詳しく話を聞きたいと思いました。



## 作文

一日を振り返って作文を書き、発表しました。小学生の感想として「東日本大震災・原発事故をはじめて知った。もっと知りたいと思った」という感想が聞かれました。福島県外の小学生に関心を持ってもらえて、良かったなと思いました。お父さんやお母さんからは「とても良い研修だったので、また夏休みに参加したい」という感想が多く聞かれました。



## 【2組】



### 平和学習 担当：山中努さん

元 NGO 職員で、海外勤務の経験がある山中さんの講義を受けました。「ウクライナ×ロシア」「イスラエル×ガザ」の歴史的な背景も知ることができました。グループワークでは根深い恨みがある中で、終息することは出来るのか。その土地に生まれ育った人ではなく、まったく違う立場や価値観がある者が解決できるのか、様々な意見が交わされました。自分とは異なる意見も受け入れることが大切なんだと感じました。



### 働くって何だろう？

担当：NTT 労働組合：高梨真貴子さん

個人的には、この講座をぜひ受けたいと楽しみにしていました。高校生もアルバイトで経験するような事例で、わかりやすく「職場でのトラブル」を解説頂きました。職場でのトラブルをたった一人で解決するのはとても勇気がいることだと思いました。そのような時、誰（どこ）に相談すればよいのかを具体的に知ることができ、たいへん参考になりました。



### 気候変動を考える講義とワークショップ

担当 埼玉県環境科学国際センター 研究所長 大原利真さん

この日も 12 月にしては異常にあたたかい日でした。異常気象が日常になってしまい気候変動への危機感が欠如してしまった反省。グループワークでの「これからは環境の変化に適応することも大切なのは」というコメントが心に残りました。急激に海面が上昇している国や北極の熊など、逃げ場がない人や動植物はどうなるのだろうか？と気がかりでした。



### 終わりの会

受講生を見送った後、昇降口で終わりの会を開きました。色々な人が先生になり、生徒になり、学びを深めたとても濃厚な一日でした。「3 年生は卒業しても、山の学校に帰って来てほしい。来年は OG・OB 会をやりましょう！」としんせいの富永さんのお話で三年生は大喜びでした。最後に一本締めをして終了しました。